

鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（素案）に対するパブリックコメント（意見募集）の実施結果について（葉山町版）

番号	大分類	小分類	実施計画	意見	回答
1	計画策定の主旨	基本理念	第1章3 P2	<p>基本理念のゼロ・ウェイストの実現化は、昨年12月マドリードで開催された国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議（COP25）の温暖化対策の強化に相通じるものがあり有意義であると思う。</p>	<p>ゼロ・ウェイストとは、無駄・ごみ・浪費をなくすという意味で、そもそもごみを生み出さないようにしようという考え方です。その過程では廃棄物処理手段として焼却、埋立を最終手段とし、高い目標に向かってごみの減量・資源化を進めて行くものです。</p> <p>このことから、ご意見のとおり地球温暖化対策の一助になるものと考えております。</p>
2	鎌倉市・逗子市・葉山町の地域概要	ごみ処理の流れ	第3章1 P13	<p>P13（4）ごみ処理の流れ 図3.2鎌倉市のごみ処理の流れ</p> <p>容器包装プラスチック資源化とあるが、「資源化」の中身（手法）が示されていない。すなわち、マテリアルリサイクル・ケミカルリサイクル・サーマルリサイクルのことである。葉山町はサーマルリサイクルと聞く。私は、サーマルリサイクルを「資源化」と呼ぶのは妥当とは思えない。</p> <p>また、それぞれの最終処分場の場所が示されていない。</p> <p>また、それぞれの経費（設備費・処分費・運搬費）が示されていない。</p> <p>この辺が示されてあらためて、パブコメを行うべきであろう。または、予算を審議する葉山町議会の慎重なる審議に期待する。</p>	<p>容器包装リサイクル法に基づく容器包装プラスチックのリサイクル手法については、材料リサイクルを最優先とし、熱源回収もリサイクルとして認められています。資源化までの流れは、分別収集、リサイクル可能となるよう中間処理を各自自治体で行い、公益財団法人へ引渡します。その後、入札によりリサイクル業者が決定することから、引渡し後のリサイクル手法について選択することが出来ません。各自自治体のリサイクル状況については、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会のホームページで確認することができます。令和元年度の2市1町の容器包装プラスチックのリサイクルは、鎌倉市及び逗子市がケミカルリサイクル、葉山町が材料リサイクルとなっています。従いまして、容器包装プラスチックについては毎年入札により資源化業者が替わる可能性があることから、本実施計画の記載は資源化とさせていただきます。</p> <p>また、最終処分場につきましては、第3章（3）最終処分場の整備状況に記載させていただきます。</p> <p>2市1町のごみ処理費につきましては、第3章6ごみ処理経費に現状を記載させていただきます。また、ごみ処理費の縮減につきましては、第7章5ごみ処理施設の集約化等によるごみ処理経費の縮減に記載させていただきます。</p>
3	鎌倉市・逗子市・葉山町のごみ処理の現状等	ごみ処理経費	第3章6 P29	<p>2市1町の1t当たりのごみ処理費は、県内ワースト5に入る高さである。横浜市のそのほぼ2倍である。これは私達住民の税金で支払われている。この金額が少なくなれば、他の例えば小中学校の施設の改修等の費用に使うことが出来る。何故、2市1町が他の多数の行政区域に比べて高額になっているかを焼却炉等設備、ごみ処理従業者、外注業者等の諸費用を調査し、どのようにすれば安くなるかを検討する事を第一の目標にして頂きたい。</p>	<p>ご指摘のとおり、2市1町の1t当たりのごみ処理費は高額となっております。ごみ処理費は沢山のごみをまとめて処理することにより効率が上がり処理費が安価になることがあります。このことから、第7章5ごみ処理施設の集約化等によるごみ処理経費の縮減に記載させて頂きましたとおり、それぞれ処理していたものを集約し、処理費を安価にしていくことを計画しております。</p>

番 号	大分類	小分類	実施計画	意 見	回 答
4	鎌倉市・逗子市・葉山町のごみ処理の現状等	ごみ処理経費	第3章6 P29	本実施計画（素案）を住民に知らせる方法が町のホームページ又は広報はやま程度では不十分である。町内会回覧なども利用する等、工夫が必要と思う。又くり返しの広報が必要。	計画推進の参考とさせていただきます。
5	ごみの減量・資源化施策	実施方針	第6章1 P40	リサイクル率を別の観点から調べてみる。 （簡単のため、神奈川県全体のリサイクル率を県平均の24.4とする。） a)2市1町の住民（計214,687人）がリサイクル率を10%増加した場合 県の平均リサイクル率＝(9,164,139×24.4+264,687×10)/9,164,139≒24.7 平均24.4より0.3%増 b)横浜市及び川崎市の住民(計5,236,924人)がリサイクル率を10%増加した場合 県の平均リサイクル率＝(9,164,139×24.4+5,236,924×10)/9,164,139≒30.1 平均24.4より5.7%増 a)b)の結果から2市1町の少ない人口の努力によるリサイクル率増加は少ないことが判る。 COP25の主旨は地球全体に対する環境への変化を意味している。従ってこのリサイクル率の動きは県というより国全体としての変化と考えるべきであろう。 2市1町は平均50%のリサイクル率となっており、これを更に伸ばす必要があるか疑問である。	2市1町ではごみ処理の基本理念に「ゼロ・ウェイスト」を掲げ、ごみの減量・資源化を進め、結果として現在の高い資源化率に達しているものと考えます。ご意見のとおり、2市1町がごみの減量・資源化を進めたとしても神奈川県、国全体から見ると微々たる成果になってしまいますが、2市1町が積極的にごみの減量・資源化を進め、他の自治体を主体的に先導することも肝要であると考えます。 従いまして、今後も引き続きゼロ・ウェイストを目指しごみの減量・資源化を進めて行く考えです。
6	ごみ処理施設の整備方針	ごみ処理施設整備の考え方	第7章1 P45	私はヒマラヤ杉公園のそばに住んでいます。以前、焼却が行われていた頃、冬の北風で焼却の臭いがしていました。今度の生ごみ資源化施設で発生する臭いを心配しています。出来ましたら既存の資源化施設の見学を実施して頂きたいと思います。	ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。 生ごみ資源化施設建設に当たりましては、近隣の皆様のご迷惑をおかけしないよう臭気対策についてはしっかり対応して参ります。 また、施設計画が具体になってきましたら説明会等を通じ、近隣の皆様にお知らせして参ります。 なお、既存施設の見学につきましては、既存の施設は遠方の県外であることから、実施につきましては検討させていただきます。
7	ごみ処理施設の整備方針	ごみ処理施設整備の考え方	第7章1 P45	新方式ごみ処理施設は、葉山町クリーンセンター内に建設されるとしているが、財源はどうなっているのか。逗子市、鎌倉市の負担金はないのか。明確な説明が欲しい。	葉山町で建設する計画の生ごみ資源化施設につきましては、循環型社会形成推進交付金を活用しながら建設を進める考えです。なお、本施設は逗子市と共同で利用する計画であり、逗子市にも応分の負担をして頂く予定です。なお、負担方法等につきましては、今後、両自治体で協議して参ります。
8	計画推進方法	—	—	特に生ごみの新式処理方式の導入する事に理解を求める姿勢がこれまた不十分である。住民はこれ以上に手間のかかることを日常茶飯事に行う事にどう対処すべきか議論沸騰しないか。	生ごみの分別収集方法等の詳細案がまとまりましたら、丁寧にご説明させていただきますと考えております。

番 号	大分類	小分類	実施計画	意 見	回 答
9	計画推進方法	—	—	本計画は、三自治体の行政枠を超えているものであり、住民説明会も各個ではなく合同での開催で計画の理解が必要と思う。	今後の参考とさせていただきます。
10	計画推進方法	—	—	クリーンセンターがまず、このように始動し易くするため、考えられることを述べます。 葉山の住民もまだまだこの事を知っている人は数少ないと思います。ましてや逗子の方達は押し知るべきで、良い住民の協力を得られるように、逗子市でも実施していると思いますが、深く、わかりやすく住民に理解してもらうことが大切だと考えます。	計画推進の参考とさせていただきます。
11	計画推進方法	—	—	具体的な実施に際しての、スタート、それも良いスタートが切れる様に、両市はよく連絡を取り合い、よくよく考えての行動をお願いいたします。分別は大事で、具体的にどうぞお示しをお願いいたします。	ご意見のとおり、2市1町よく連携し、計画を推進して行く考えです。
12	—	—	—	生ごみを出さない家庭に対し、何らかのメリットを提供するべき。	計画推進の参考とさせていただきます。
13	—	—	—	ごみ処理経費を減らすと、どんな良いことがあるか（教育費に回すとか施設サービスの充実にあてるとか）町民にPRするべき。	計画推進の参考とさせていただきます。